

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	選択
担当教員			
太田 誠			
火5			
添付ファイル			

科目の概要	(Pクラス用) 健康や人間行動の理解、心理学研究などに必要な統計学の基礎を身につけることをめざし、データの収集および分析・処理の基礎的方法を、実際のデータによる演習も交えて解説する。
授業の内容	<p>第1回 ガイダンス 授業についての事前アンケートを実施した上で、授業の概要、授業計画、授業の方法、学習到達目標、成績評価の方法などについて説明する。</p> <p>第2回 事前準備：事前にシラバスを読んでおくこと。 データの数量化 データ数量化の水準と水準に応じた取り扱いについて解説する。</p> <p>第3回 授業後： 復習課題を使って、データの数量化の水準等についてまとめておくこと。テキストやノート資料などを確認しながら記入すること。 統計表とグラフ（1）統計表 度数分布表の作成と使い方を中心に解説する。 データの集計、度数分布表の作成等の実習も実施する。</p> <p>第4回 授業後： 復習課題を使って、度数分布表等の作成と活用方法についてまとめておくこと。テキストやノート資料などを確認しながら記入すること。 統計表とグラフ（2）統計グラフ 統計グラフの種類と使い分け、グラフ作成上の留意点について解説する。 様々なグラフの事例を検討しながら、グラフから読み取れることや適切なグラフが作成されているかという点などについてのディスカッションも実施する。</p> <p>第5回 授業後： ・復習課題を使って、度数分布表の作成と活用方法について再度確認するとともに実験結果のグラフの見方についてまとめておくこと。テキストやノート資料などを確認しながら記入すること。 統計測度（1）代表値 代表値の種類と使い分けについて解説する。 データ処理の実習も実施する。</p> <p>第6回 事前準備：基礎的な計算について確認しておくこと。詳細は事前の授業で説明する。 授業後： ・復習課題を使って、基本的用語やデータ処理の方法についてまとめておくこと。テキストやノート資料などを確認しながら記入すること。 統計測度（2）散布度 分散、標準偏差の算出方法と使い方について解説する。</p> <p>第7回 授業後： ・復習課題を使って、基本的用語やデータ処理の方法についてまとめておくこと。テキストやノート資料などを確認しながら記入すること。 統計測度（3）標準得点と偏差値 標準得点、偏差値の算出方法と意味について解説する。</p> <p>第8回 授業後： ・復習課題を使って、基本的用語をまとめ、データ処理の方法について繰り返し練習しておくこと。テキストやノート資料などを確認しながら記入すること。 相関と連関（1）散布図と相関係数 散布図や相関係数による相関の見方について解説する。</p> <p>第9回 授業後： ・復習課題を使って、基本的用語をまとめ、データ処理の方法について繰り返し練習しておくこと。テキストやノート資料などを確認しながら記入すること。 相関と連関（2）相関係数解釈上の留意点 相関係数解釈上の留意点について解説する。</p>

	<p>第10回 相関と連関（3）連関 連関について解説する。</p> <p>授業後： ・復習課題を使って、基本的用語をまとめ、データ処理の方法について繰り返し練習しておくこと。テキストやノート資料などを確認しながら記入すること。</p> <p>第11回 統計的仮説検定（1）母集団と標本 標本調査の基本的な考え方を解説する。 ・標本抽出の実習も行う。</p> <p>授業後： ・復習課題を使って、基本的用語や考えかたについてまとめておくこと。テキストやノート資料などを確認しながら記入すること。</p> <p>第12回 統計的仮説検定（2）母集団と標本 標本から母集団について推測する方法について解説する。 ・標本抽出の実習も行う。</p> <p>授業後： ・復習課題を使って、基本的用語や考えかたについてまとめておくこと。テキストやノート資料などを確認しながら記入すること。</p> <p>第13回 統計的仮説検定（3）統計的仮説検定 統計的仮説検定の基本的な考え方について解説する。</p> <p>授業後： ・復習課題を使って、基本的用語や考えかたについてまとめておくこと。テキストやノート資料などを確認しながら記入すること。</p> <p>第14回 統計的仮説検定（4）統計的仮説検定 統計的仮説検定の実際について解説する。</p> <p>授業後： ・復習課題を使って、基本的用語やデータ処理の方法についてまとめておくこと。テキストやノート資料などを確認しながら記入すること。</p> <p>第15回 まとめ</p>
学習到達目標	<p>【知識・技能】 数量化の水準に応じたデータの取り扱いができる。 基礎的な統計表・グラフが作成できる 代表値が算出できる 標準偏差、標準得点、偏差値が算出できる。 相関図が作成できる 相関係数が算出できる。 相関係数の解釈上の留意点が説明できる。 統計的仮説検定の基礎的な用語を説明できる。</p> <p>【態度】 基礎的統計の知識に基づいてデータを主体的に読み取り考察することができる。 基礎的統計の知識に基づいて、適切な方法を自ら選択してデータを分析することができる。</p>
授業の方法	<p>1. 講義に加えて、データ処理の実習・演習、復習課題による演習、グループワークなどを交えて授業を進めます ・実習、演習：データの集計、分析処理の実習・演習を行います。 ・グループワーク：グループでデータの集計、分析処理の実習・演習、結果についてのディスカッションを行います。</p> <p>2. 授業時に「カード」を配布します。その回の授業内容について、わかったこと、質問や感想などを自由に記入して提出してください。提出されたカードは、授業の参考にすると同時に、みなさんからの質問で重要なものに対しては後の授業でコメントします。</p> <p>3. 授業時に「復習課題プリント」を配布します。 提出用：授業時に指示に従って記入し、提出してください。 保存用：「提出用と同じ内容」と「自主的により理解を深めるための課題」から成る自習用課題です。持ち帰り、ノートや資料、テキストの内容を確認し記入してください。</p>
成績評価の方法	<p>1. 課題（各回提出：20%）、および定期試験（80%）により評価します。 2. 課題は授業内容の理解を助けることを主眼とし、評価の割合は定期試験を重視します。 3. 詳細は初回授業時に説明します。 4. 授業出席が授業回数$\frac{2}{3}$未満の者および受講に著しく問題のある者については単位を認定しない。</p>
教科書・テキスト	<p>1. 山田剛史・村井潤一郎 2004 よくわかる心理統計 ミネルヴァ書房 2. 資料プリント 3. 復習課題プリント（各回提出用、自習用） など</p>
参考書	授業中に紹介します。
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	<p>1. 復習課題プリントを使って復習しましょう。3. 授業時に「復習課題プリント」を配布します。 提出用：授業時に指示に従って記入し、提出してください。保存用：「提出用と同じ内容」と「自主的により理解を深めるための課題」から成る自習用課題です。持ち帰り、ノートや資料、テキストの内容を確認し記入してください。 疑問点はメモし、質問しましょう。 2. 授業後、配布資料プリントの資料を読んで理解を深めましょう。 詳細は授業時に指示します。</p>
履修上の留意事項	データの処理の演習を交えて授業を進めます。
オフィスアワー	月曜日5限（事前に連絡してから訪問してください。）

	その他の時間も可能な限り対応します。事前に連絡してから訪問してください。 授業内容についての質問をする際には、質問内容に関わるテキスト、ノート、プリント、筆記用具
担当教員への連絡方法	4号館 4-417研究室
その他	授業開始時刻までに着席しましょう。 授業開始前に必要物（テキスト、ノート、筆記用具など）を準備し、配布物に目を通しましょう。 配布物をファイル等に整理しておきましょう。 授業中私語厳禁とします。授業中、携帯電話は電源を切り鞆の中に入れてください。 積極的に質問をしましょう。